そよかぜの丘　事故防止対策委員会　活動内容

SOYOKAZE　ZIKOBOU Vol.11

@NEWS 2021.11月号 Part.1

そよかぜの家日中活動の取組み

短時間パート職員の導入

7月より昼食の時間帯に勤務を行う短時間パートの職員さん4名が新しく仲間入りしました。
勤務内容としては昼食の準備・配膳、食事介助、トイレ介助、利用者把握、下膳・片付けを行っていただいております。
短時間パート職員を導入することで、**「昼休憩が取れない」問題を解消**し、そよかぜの家がより働きやすい職場環境となりました。
休憩をしっかり取れることはヒューマンエラー対策にもつながり、短時間パート職員の導入は事故防止にも大きく貢献することとなりました。
また、今回短時間パート職員として入っていただいた4名の方は皆、福祉施設での勤務は初めてで、“福祉施設の仕事に興味はあったが、長時間の勤務はむずかしい…“ということで今回の募集がちょうど良い内容だったため応募してくれたようです。
こういった働き方のニーズがあることは新しい発見でしたし、地域の方たちが入っていただくことで福祉・障がいの理解がすすみ、良い輪が広がってきました。
今後もよろしくお願いします！
※パート職員には実際に勤務を始める前に対応研修を受けていただき、勤務を始めてからも3か月間OJTを行い、しっかりとした教育体制をとっています。

利用者の皆さんが安全に楽しいお食事時間が過ごせるように、これからも頑張りたいと思います。

スタッフやご利用者様もいつもやさしくニコニコされて毎回のパート時間が楽しみです。

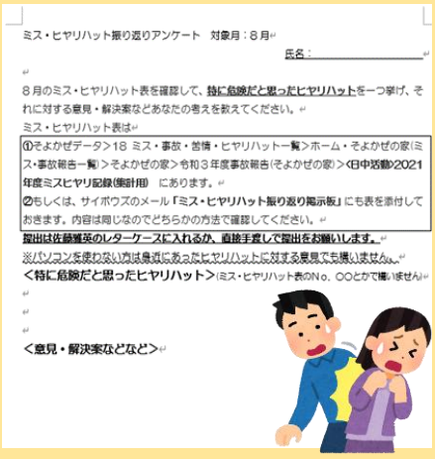
福祉に携わるのが初めてなので、やることすべてが新鮮で楽しいです。

食事介助のお仕事は未経験なので、毎回緊張の連続ですが周りの皆さんに助けられながら楽しんで働いています。

ミスヒヤリハット振り返りアンケートの実施

過去の**ミスヒヤリハットを振り返ることを目的**に、振り返りアンケートを実施しました。
アンケート結果をもとに、月一回の日中活動ミーティングにて意見の共有や議論を行っております。

重大事故の背景には29件の軽微な事故・300件のヒヤリハット事例があり(ハインリッヒの法則)、ミスヒヤリハットを振り返ることは重大事故を未然に防止することにつながります。
振り返りアンケートは今後も継続して行い、利用者の安心・安全を確保できるように努めていきたいと思います。


ミス・ヒヤリハット振り返りアンケート　対象月：８月

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿

８月のミス・ヒヤリハット表を確認して、特に危険だと思ったヒヤリハットを一つ挙げ、それに対する意見・解決案などあなたの考えを教えてください。

ミス・ヒヤリハット表は

①そよかぜデータ＞18 ミス・事故・苦情・ヒヤリハット一覧＞ホーム・そよかぜの家(ミス・事故報告一覧)＞そよかぜの家＞令和３年度事故報告(そよかぜの家)＞<日中活動>2021年度ミスヒヤリ記録(集計用)　にあります。

②もしくは、サイボウズのメール「ミス・ヒヤリハット振り返り掲示板」にも表を添付しておきます。内容は同じなのでどちらかの方法で確認してください。

提出は佐藤雅英のレターケースに入れるか、直接手渡しで提出をお願いします。

※パソコンを使わない方は身近にあったヒヤリハットに対する意見でも構いません。

<特に危険だと思ったヒヤリハット>(ミス・ヒヤリハット表のNo．○○とかで構いません)

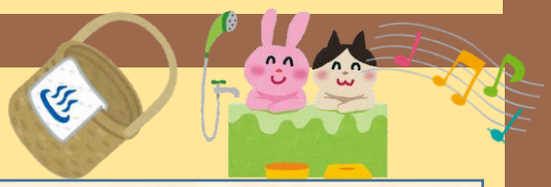
<意見・解決案などなど>

グループ職員による内部研修

自閉スペクトラム症について内部研修を行いました。
自閉症の方が多いくりの木グループで活躍している長谷川職員が講師として行いました。

★内部研修を行ってみて
初めての講師は、プレッシャーや準備で大変でした・・・
でも、**「自分の得意で興味のあるコトを教える」機会は、自分の成長につながった**と思います。なぜなら、**みんなに伝えたいコトを教えられるようにと、意欲的に勉強できた**からです。研修を終えた今、**以前よりも専門性が高まり、自信がつきました。**
誰でも他の人より得意なコト、興味あるコトがあると思います。
例えば、『ご家族とよい関係を築く方法』『余暇プログラムの楽しませ方』『伝わる報連相』などなど・・・
それを教える場(研修)は、周りだけでなく自分のレベルアップにもつながります。
ぜひ自分の得意・興味を磨いていって内部研修で発表してみてください。

機械浴・入浴ロールプレイ研修



今年度から機械浴が新しく導入されたところで、機械浴の使い方の確認したり、実際に機械浴を体験をしてみるロールプレイ研修を行いました。

★機械浴・入浴ロールプレイ研修を行ってみての感想
・実際に機械浴の椅子に座って動作を体験したが、意外と**揺れを感じて怖さ**があった。
・**ベルトの位置も適切につけないとお湯に入ると体が浮いてしまうことがわかった**。自分で座位を直せないと苦しいと思うので最初にしっかりベルトで固定することが大切だと感じた。
・お湯の温度は41℃～42℃で入る事が多いが、夏場はしっかり体が温まり、脱衣室に入ると涼しく感じることがわかった。**冬場は特にヒートショックに気を付けて対応したい**。
・**入浴対応は一人で対応すると焦ってしまうことがある**ので、なるべくチーム支援で円滑に進めていきたい。
・またロールプレイを通して、**利用者の気持ちを体感**し、より良い支援を目指していきたい。

そよかぜの丘　事故防止対策委員会　活動内容

SOYOKAZE　ZIKOBOU Vol.11

@NEWS 2021.11月号

Part.2

そよかぜの家生活支援の取組み

ヒヤリハット機能の活用

ヒヤリハットが起きた際に、すぐに書ける書式を使用し、ヒヤリハット報告をしやすい工夫をしています。

挙げられたヒヤリハットは月ごとに集計をして、ミーティング時に振り返りを行なっています。

さらに

ヒヤリハットから生まれた改善策を形にしていくことを目標に取り組んでいます。

↑洗濯機の中身の表記

↑安全な入浴のための備品を整備

例えば・・・
- 掲示物の改善
- マニュアルの改良
- 物品購入し、環境改善
- ケース検討　　などなど

内部研修・外部研修の参加

外部研修にも積極的に参加し、
月一回定期的に行っているミーティング時には、内部研修を担当制で行っています。
ケアマネージャー、初任者研修、実務者研修などの資格研修にも積極的に参加したり、ボランティアを行なって自己研鑽に努めています。

↑内部研修の様子

↑ボランティアのお礼状と3月に取得した社会福祉士の資格証(稲葉職員)

環境整備

環境の見直しを行い、物品を購入したり整備整理を行うことで、わかりやすい整った職場作りを目指しています。

↑本の数を整理してスッキリしました♪

↑血圧計によるバイタルチェックの導入

ZIKOBOU Point！

５S活動(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)が行き届いている環境では、効率だけでなく仕事の質も上がり、ヒューマンエラーが起きにくいとされています。

整理	不要なものを捨てること
整頓	使いやすく並べて表示をすること
清掃	きれいに掃除をしながら、あわせて点検すること
清潔	きれいな状態を維持すること
しつけ	きれいに使うように習慣づけること

利用者支援

ショートステイは基本的に2名以上の職員で対応していますが、利用者の人数によっては一人泊まりの場合もあります。
一人泊まりの時の緊急時の対応について話し合いをしたり、シュミレーションを行っています。

↑発作時対応のロールプレイ

↑介護食勉強会の資料

余暇支援事業

昨年度は新型コロナウィルス感染拡大の影響で余暇活動を自粛しておりましたが、今年度は幸い感染状況が次第に落ち着いてきたので、一部ではありますが、感染症対策を十分に施した上で、密にならない環境に配慮し、成人余暇と夏余暇の実施をすることができました。ボランティアさんにも協力をいただき、楽しい余暇活動を行えました。
コロナが収束し、以前のようにたくさんの企画を実施できることを願っております。

夏余暇の様子　車内にて

ドライブ余暇　八景島水族館内にて

おもちゃ文庫

おもちゃ文庫も余暇活動同様に、感染状況の拡大に伴いしばらく閉館しておりましたが、10月より再開をしました。
感染予防として人数を制限した上での利用となり、ご不便をかけておりますが、いずれはまたたくさんの方に利用していただきたいと思っております。

※注意※
現在は午前中のみの開館となっています。

おわりに

日中活動支援事業と生活支援事業は、事業としては別事業になりますが、同じ建物内の事業として密に連携・協力しながら運営をしていっております。
今後も利用者の皆さんが安心してそよかぜで過ごすことができるように精一杯頑張っていきますので、宜しくお願い致します！！！